

「もしも・・・」

# ペットの防災準備はできていますか？

まだ記憶に新しい 阪神・淡路大震災から10年以上経ちます。

各地での集中豪雨、新潟中越地震、スマトラ沖地震・・・と地球上で自然災害が後を絶ちません。

「うちは大丈夫・・・」なんて言葉はあてになりません。

災害発生時、避けられないのは避難生活です。大切なペットのために皆さん準備はできていますか？

## 日頃から心がけておきましょう!!

### 1. 病院でのワクチン接種、健康管理

避難所での伝染病の広がりを防ぐために必要です。

場合によっては、ワクチン接種が済んでいないペットは預かってもらえない恐れがあります



### 2. 「待て」、「ハウス」、社会化のしつけ

避難時、見知らぬ場所で見知らぬ人や動物とともに過ごす事になりかねません。

人や動物に日ごろから慣れておくことは大切です。

飼主の一言で、静かにじっとすることの出来るようにしましょう。

集団で保護される時は狭いケージでの生活になります。「ケージが嫌い」では困ります。



### 3. 一時的に預かってもらえる相手を探しておく

万が一、すぐに一緒に暮らすことが困難になってしまった場合、頼れる相手はいますか？

### 4. 飼育場所の安全確保

室内飼いの場合、家具の転倒、割れたガラスによってケガをします。

自らの安全にもなるので家具の配置を確認してはいかがでしょうか？

室内飼いの場合は、台風による強風、地震によるブロック塀の倒壊、落下物が危険です。



## ペットのために、備えておきたい物リスト

#### 「水・フード」

フードは日頃食べているものが好ましいです。救済物資が届くまで必要です。器もあるほうが良いでしょう。



#### 「移動用具」

ケージ・キャリングケースなど安全に移送できる用具を1匹につき1個を用意。



#### 「名札・鑑札」

首輪にペットの名前、飼い主様の氏名・連絡先を記入しておきましょう。迷子になった時、わかりやすいです。



#### 「写真・飼育メモ」

生年月日、鑑札番号・狂犬病予防接種・ワクチン接種証明書のコピー、病歴、健康状態等、ペットの情報をメモしておきましょう。やむを得なく誰かに、お世話を願う際に、役に立ちます。



#### 「お薬・処方食」

慢性的疾患の為のお薬や、治療中のお薬。処方食は数日分があると安心です。



#### 「他にあれば便利なもの」

タオル・リード・ペットシート・古新聞等をひとまとめにしておくと良いでしょう。



何よりも大切なのは、飼い主様とペットの信頼関係です。どんなパニック状態でもペットに信頼してもらえるような飼い主さんを目指しましょう!!

